とする．試料溶液及び標準溶液 20 μL ずつを正確にとり，次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い，それぞれの液のセフピロムのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する．

$$\text{セフピロム}\ (C_{22}H_{22}N_6O_5S_2)\ \text{の量}\ [\mu g\ (\text{力価})] = \text{硫酸セフピロム標準品の量}\ [\text{mg}\ (\text{力価})] \times \frac{A_T}{A_S} \times 1000$$

試験条件

検出器：紫外吸光光度計（測定波長：270 nm）

カラム：内径 4.6 mm，長さ 25 cm のステンレス管に 5 μm の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする．

カラム温度：25 °C 付近の一定温度

移動相：リン酸二水素アンモニウム 3.45 g を水 1000 mL に溶かし，リン酸を用いて pH 3.3 に調整する．この液 800 mL にアセトニトリル 100 mL を加える．

流量：セフピロムの保持時間が約 7.5 分になるように調整する．

システム適合性

システムの性能：標準溶液 20 μL につき，上記の条件で操作するとき，セフピロムのピークの理論段数は 3600 段以上である．

システムの再現性：標準溶液 20 μL につき，上記の条件で試験を5回繰り返すとき，セフピロムのピーク面積の相対標準偏差は 1.0 % 以下である．

貯　法

保存条件　2 ～ 8 °C で保存する．

容　　器　密封容器．

硫酸鉄

Ferrous Sulfate

$FeSO_4 \cdot 7H_2O$: 278.01

本品は定量するとき，硫酸鉄（$FeSO_4 \cdot 7H_2O$）98.0 ～ 104.0 % を含む．

性　状　本品は淡緑色の結晶又は結晶性の粉末で，においはなく，味は収れん性である．

本品は水に溶けやすく，エタノール（95）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない．

本品は乾燥空気中で風解しやすく，湿った空気中で結晶の表面が黄褐色となる．

確認試験　本品の水溶液（1 → 10）は第一鉄塩及び硫酸塩の定性反応を呈する．

純度試験

（1）　溶状　本品 1.0 g を水 20 mL 及び希硫酸 1 mL を加えて溶かすとき，液は澄明である．

（2）　酸　本品を粉末とし，その 5.0 g にエタノール（95）50 mL を加え，2 分間よく振り混ぜた後，ろ過する．ろ液 25 mL に水 50 mL，ブロモチモールブルー試液 3 滴及び希水酸化ナトリウム試液 0.5 mL を加えるとき，液は青色である．

（3）　重金属　本品 1.0 g を磁製皿にとり，王水 3 mL に溶かし，水浴上で蒸発乾固する．残留物を 6 mol/L 塩酸試液 5 mL に溶かし，分液漏斗に移す．磁製皿を 6 mol/L 塩酸試液 5 mL ずつで 2 回洗い，洗液を分液漏斗に合わせ，ジエチルエーテル 40 mL ずつで 2 回，次にジエチルエーテル 20 mL で振り混ぜた後，静置し，分離したジエチルエーテル層を除く．水層に塩酸ヒドロキシアンモニウム 0.05 g を加えて溶かし，水浴上で 10 分間加熱し，冷後，アンモニア水（28）を滴加して液の pH を 3 ～ 4 に調整した後，水を加えて 50 mL とする．これを検液とし，試験を行う．比較液は磁製皿に鉛標準液 2.5 mL を入れ，王水 3 mL を加え，以下同様に操作する（25 ppm 以下）．

（4）　ヒ素　本品 1.0 g をとり，第 1 法により検液を調製し，装置 B を用いる方法により試験を行う（2 ppm 以下）．

定 量 法　本品約 0.7 g を精密に量り，水 20 mL 及び希硫酸 20 mL を加えて溶かし，リン酸 2 mL を加え，直ちに 0.02 mol/L 過マンガン酸カリウム液で滴定する．

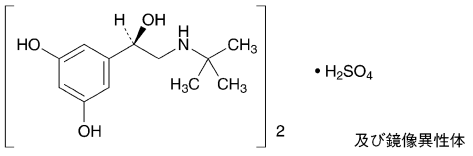
$$0.02\ \text{mol/L 過マンガン酸カリウム液}\ 1\ \text{mL} = 27.801\ \text{mg}\ FeSO_4 \cdot 7H_2O$$

貯　法　容　　器　気密容器．

硫酸テルブタリン

Terbutaline Sulfate

テルブタリン硫酸塩



$(C_{12}H_{19}NO_3)_2 \cdot H_2SO_4$: 548.65

(*RS*)-2-*tert*-Butylamino-1-(3, 5-dihydroxyphenyl)ethanol hemisulfate　[*23031-32-5*]

本品は定量するとき，換算した脱水物に対し，硫酸テルブタリン〔$(C_{12}H_{19}NO_3)_2 \cdot H_2SO_4$〕98.5 % 以上を含む．

性　状　本品は白色～帯褐白色の結晶又は結晶性の粉末で，においはないか，又はわずかに酢酸臭がある．

本品は水に溶けやすく，アセトニトリル，エタノール（95），酢酸（100），クロロホルム又はジエチルエーテルにほとんど溶けない．

本品は光又は空気によって徐々に着色する．

融点：約 255 °C（分解）．

確認試験

（1）　本品 1 mg を水 1 mL に溶かし，pH 9.5 のトリス緩衝液 5 mL，4-アミノアンチピリン溶液（1 → 50）0.5 mL 及びヘキサシアノ鉄（Ⅲ）酸カリウム溶液（2 → 25）2 滴を加えるとき，液は赤紫色を呈する．

（2）　本品の 0.01 mol/L 塩酸試液溶液（1 → 10000）につき，紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し，本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき，